

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-143499

(43)Date of publication of application : 29.05.1998

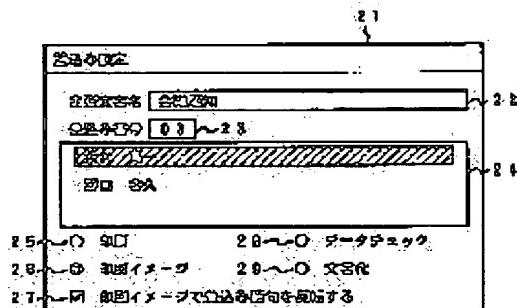
(51)Int.CI. G06F 17/21

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| (21)Application number : 08-300493 | (71)Applicant : TOSHIBA CORP<br>TOSHIBA COMPUT ENG CORP |
| (22)Date of filing : 12.11.1996    | (72)Inventor : SUMI TAKANORI<br>MAKIGUCHI ATSUSHI       |

## (54) DOCUMENT PREPARING DEVICE AND INSERT PRINTING METHOD

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To selectively partially print any arbitrary document among respective documents in an insert file as a convenient insert printing function.  
**SOLUTION:** Concerning insert printing for performing insert printing while using an insert file and a routine document, a memory previously stores the insert file having plural documents for which the insert destination of insert phrase is described by insert control information, and the routine document for which the insert position of this insert phrase is designated by this insert control information. In case of printing, a setting picture 21 is displayed for designating the document to become a printing object among the respective documents provided in the insert file. The printing object document designated on this setting picture and the routine document are read out of the memory and printed while inserting the insert phrase in this printing object document into this routine document based on this insert control information.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

[decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-143499

(43)公開日 平成10年(1998)5月29日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 17/21

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/20

5 6 6 G  
5 3 8 M  
5 7 0 M

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 12 頁)

(21)出願番号 特願平8-300493

(22)出願日 平成8年(1996)11月12日

(71)出願人 000003078  
株式会社東芝  
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地  
(71)出願人 000221052  
東芝コンピュータエンジニアリング株式会社  
東京都青梅市新町3丁目3番地の1  
(72)発明者 角 隆則  
東京都青梅市新町1381番地1 東芝コンピュータエンジニアリング株式会社内  
(72)発明者 横口 敦志  
東京都青梅市新町1381番地1 東芝コンピュータエンジニアリング株式会社内  
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

(54)【発明の名称】 文書作成装置及び差込み印刷方法

(57)【要約】

【課題】使い勝手の良い差込み印刷機能として、差込みファイル内の各文書の中で任意の文書を選択的に部分印刷できるようにする。

【解決手段】差込みファイルと定型文書とを用いて差込み印刷を行う差込み印刷において、予め差込み制御情報によって差込み語句の差込み先が記述された複数の文書を有する差込みファイルと、上記差込み制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書がメモリに記憶されている。印刷に際し、差込みファイルが有する各文書の中で印刷対象となる文書を指定するための設定画面21を表示する。この設定画面21上で指定された印刷対象文書と定型文書とをメモリから読み出し、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んで印刷する。

21

|   |                 |
|---|-----------------|
| 差込み設定   |                 |
| 定型文書名   | 会議通知            |
| 差込み番号   | 0 3 ～ 2 3       |
| 差込み<br>野口 善久  |                 |
| 2 5 ～ ○ 印刷  | 2 8 ～ ○ データチェック |
| 2 6 ～ ○ 印刷イメージ  | 2 9 ～ ○ 文書化     |
| 2 7 ～ <input checked="" type="checkbox"/> 印刷イメージで差込み語句を反転する |                 |

22

23

24

25

26

27

28

29

(2)

1

**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 予め差込み制御情報によって差込み語句の差込み先が記述された複数の文書を有する差込みファイルと上記差込み制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書とを記憶した記憶手段と、

上記差込みファイルが有する各文書の中で印刷対象となる文書を指定するための設定画面を表示するプロパティ表示手段と、

このプロパティ表示手段によって表示された上記設定画面上で印刷対象文書を指定する文書指定手段と、

この文書指定手段によって指定された上記印刷対象文書と上記定型文書とを上記記憶手段から読み出し、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んで印刷する印刷手段とを具備したことを特徴とする文書作成装置。

**【請求項2】** 上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、データチェックを指示するチェック指示手段と、

このチェック指示手段によるチェック指示に従って、上記印刷対象文書中の上記差込み語句の記述をチェックするチェック手段と、

このチェック手段の結果、記述ミスが検出された場合には、そのエラー箇所の一覧を表示するエラー表示手段とをさらに具備したことを特徴とする請求項1記載の文書作成装置。

**【請求項3】** 上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、印刷イメージの表示を指示する印刷イメージ指示手段と、

この印刷イメージ指示手段による印刷イメージの表示指示に従って、上記印刷対象文書中の上記差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成する文書作成手段と、

この文書作成手段によって作成された上記差込み文書のイメージを表示する印刷イメージ表示手段とをさらに具備したことを特徴とする請求項1記載の文書作成装置。

**【請求項4】** 上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、文書化を指示する文書化指示手段と、

この文書化指示手段による文書化指示に従って、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成する文書作成手段と、

この文書作成手段によって作成された上記差込み文書を指定の文書名に基づいて指定先に保存する差込み文書保存手段とをさらに具備したことを特徴とする請求項1記載の文書作成装置。

**【請求項5】** 差込みファイルと定型文書とを用いて差込み印刷を行う差込み印刷方法であって、

予め差込み制御情報によって差込み語句の差込み先が記

2

述された複数の文書を有する差込みファイルと上記差込み制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書とをメモリに記憶させておき、上記差込みファイルが有する各文書の中で印刷対象となる文書を指定するための設定画面を表示することにより、

この設定画面上で指定された印刷対象文書と上記定型文書とを上記メモリから読み出し、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んで印刷するようにしたことを特徴とする差込み印刷方法。

**【請求項6】** 上記印刷対象文書が指定された際に、データチェックが指示されたか否かを判断し、そのチェック指示があったとき、上記印刷対象文書中の上記差込み語句の記述をチェックし、記述ミスが検出された場合には、そのエラー箇所の一覧を表示するようにしたことを特徴とする請求項5記載の差込み印刷方法。

**【請求項7】** 上記印刷対象文書が指定された際に、印刷イメージの表示が指示されたか否かを判断し、その印刷イメージの表示指示があったとき、上記印刷対象文書中の上記差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成し、この差込み文書のイメージを表示するようにしたことを特徴とする請求項5記載の差込み印刷方法。

**【請求項8】** 上記印刷対象文書が指定された際に、文書化が指示されたか否かを判断し、その文書化指示があったとき、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成し、この差込み文書を指定の文書名に基づいて指定先に保存するようにしたことを特徴とする請求項5記載の差込み印刷方法。

**【請求項9】** 差込みファイルと定型文書とを用いて差込み印刷を行うためのプログラムを記録した媒体であつて、

予め差込み制御情報によって差込み語句の差込み先が記述された複数の文書を有する差込みファイルと上記差込み制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書とをメモリに記憶させておき、コンピュータに、

上記差込みファイルが有する各文書の中で印刷対象となる文書を指定するための設定画面を表示させ、この設定画面上で指定された印刷対象文書と上記定型文書とを上記メモリから読み出し、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んで印刷させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な媒体。

**【請求項10】** 上記印刷対象文書が指定された際に、コンピュータに、

50

(3)

3

データチェックが指示されたか否かを判断させ、そのチェック指示があったとき、上記印刷対象文書中の上記差込み語句の記述をチェックさせ、記述ミスが検出された場合には、そのエラー箇所の一覧を表示させるためのプログラムを記録した請求項9記載のコンピュータ読取り可能な媒体。

【請求項11】 上記印刷対象文書が指定された際に、コンピュータに、印刷イメージの表示が指示されたか否かを判断させ、その印刷イメージの表示指示があったとき、上記印刷対象文書中の上記差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成させ、この差込み文書のイメージを表示させるためのプログラムを記録した請求項9記載のコンピュータ読取り可能な媒体。

【請求項12】 上記印刷対象文書が指定された際に、コンピュータに、文書化が指示されたか否かを判断させ、その文書化指示があったとき、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成させ、この差込み文書を指定の文書名に基づいて指定先に保存させるためのプログラムを記録した請求項9記載のコンピュータ読取り可能な媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えばワードプロセッサやワープロソフトを搭載したパーソナルコンピュータ等の文書作成装置に係り、特に差込み印刷機能を備えた文書作成装置及び差し込み印刷方法に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】 従来、例えばワードプロセッサやワープロソフトを搭載したパーソナルコンピュータ等の文書作成装置には、差込み印刷機能を備えたものがある。これは、案内状や見積書など、予めフォーマットが定められた定型文書の中に任意の語句（宛名や品目、日付等）を挿入して印刷する機能である。

【0003】 この差込み印刷機能を用いる場合には、まず、差込み語句が入力された文書（以後、これを差込みファイルと呼ぶ）を作成する。図7（b）に示すように、差込みファイルは差込みマーク1と差込み番号2からなる差込み制御情報によって差込み位置を記述し、その後ろに差込み語句3を記述する。1行に1つの語句を記述し、1文書毎の区切りには、改行マーク4を入れる。一方、図7（a）に示すように、元になる定型文書には差込み語句を挿入する位置に上記同様の差込みマーク1と差込み番号2を記述しておく。

【0004】 ここで、予め書式設定で定型文書に差込みファイルを関連付けておくと、印刷時に定型文書中の差込みマーク1の位置に差込みファイル上の差込み語句3

(4)

4

が差込み番号2の順に差し込まれて印刷される。このときの印刷を差込み印刷と呼ぶ。図7（c）にその印刷結果を示す。1つの差込みファイルに複数の文書が存在する場合には、各文書毎にこのような差込み印刷が行われることになる。

【0005】 図8は従来の差込み印刷の処理動作を示すフローチャートである。ユーザによって印刷が指示されると、印刷要求のあった文書に差込みファイルが関連付けされているか否かが判断される（ステップA11）。関連付けがない場合には（ステップA11のNo）、通常の印刷となる（ステップA22）。すなわち、印刷要求のあった文書を通常の文書としてその印刷を行う。

【0006】 関連付けがある場合には（ステップA11のYes）、その文書を定型文書とし、その定型文書に関連付けられた差込みファイルのデータがリードされ（ステップA12）、その解析が行われる（ステップA13）。ここでは、文書数のチェックと記述ミスのチェックが行われる。エラーが検出された場合に（ステップA14のYes）、差込み印刷は実行されない。

【0007】 エラーがなければ（ステップA14のNo）、差込みファイル中に存在する全ての文書を対象として差込み印刷が実行される（ステップA15～A21）。この場合、定型文書がリードされ、その中に設けられた差込みマークが差込みファイル内の各文書中の差込み語句に置き換えて印刷される。また、この時点でエラーが検出された場合には（ステップA19のYes）、差込み印刷は実行されない。

##### 【0008】

【発明が解決しようとする課題】 上記したように、差込み印刷では、定型文書中の差込みマークを差込み語句に置き換えて印刷する。しかしながら、従来の差込み印刷では、以下のようないい問題があった。

【0009】 （1） 差込みデータの指定がファイル単位でしか行えなかったため、常に1ファイル分の印刷が行われる。このため、1つの差込みファイルに複数の文書が存在する場合に、その中の一部の文書のみを対象として部分的に印刷することができず、非常に不具合であった。

【0010】 （2） 差込みファイルを作成する際、差込み番号の対応ミスや差込みマークの入れ忘れなどの記述ミスを犯すことがよくある。システムは、印刷実行中にこのようなミスを発見すると、その時点でエラー終了とする。しかしながら、事前に全てのエラー箇所を検出するような機能はなかったため、実際に印刷を開始してみないことには記述ミスを犯しているかどうかわからず、無駄な印刷を行ってしまうことがあった。

【0011】 （3） 差込み印刷では、定型文書中の差込みマークを差込み語句に置き換えて印刷するため、例えば語句の置き換えによって1行字数がオーバーするなどして、レイアウトが変わってしまうことがある。このよう

(4)

5

な場合に、ユーザは印刷結果を見るまで、そのレイアウトはわからぬため、非常に不具合であった。

【0012】(4) 差込み印刷では、定型文書中の差込みマークを差込み語句に置き換えて印刷するが、その置き換えたものを文書として保存しておく機能はなかった。このため、例えはある特定の件に関して文書化して保存しておきたい場合には、ユーザ自身が定型文書中の差込みマークを差込み語句に置き換えて新たな文書を作成して保存する、といったような非常に面倒な作業が必要であった。

【0013】本発明は上記のような点に鑑みなされたもので、上述したような問題を解決することのできる使い勝手の良い差込み印刷機能を備えた文書作成装置及び差込み印刷方法を提供するものであり、具体的に以下のような点を解決することを目的とする。

【0014】・差込みファイル内の各文書の中で任意の文書を選択的に部分印刷できるようにする。

・事前に全ての記述ミスをチェックできるようにする。

【0015】・画面上で視覚的に印刷結果を確認できるようにする。

・定型文書中の差込みマークを差込み語句に置き換えたものを文書化して保存できるようにする。

【0016】

【課題を解決するための手段】本発明の文書作成装置は、予め差込み制御情報によって差込み語句の差込み先が記述された複数の文書を有する差込みファイルと上記差込み制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書とを記憶した記憶手段と、上記差込みファイルが有する各文書の中で印刷対象となる文書を指定するための設定画面を表示するプロパティ表示手段と、このプロパティ表示手段によって表示された上記設定画面上で印刷対象文書を指定する文書指定手段と、この文書指定手段によって指定された上記印刷対象文書と上記定型文書とを上記記憶手段から読み出し、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んで印刷する印刷手段とを具備したものである。

【0017】また、本発明は、上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、データチェックを指示するチェック指示手段と、このチェック指示手段によるチェック指示に従って、上記印刷対象文書中の上記差込み語句の記述をチェックするチェック手段と、このチェック手段の結果、記述ミスが検出された場合には、そのエラー箇所の一覧を表示するエラー表示手段とをさらに具備したことを特徴とする。

【0018】また、本発明は、上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、印刷イメージの表示を指示する印刷イメージ指示手段と、この印刷イメージ指示手段による印刷イメージの表示指示に従って、上記印刷対象文書中の上記差込み語句を上記差込み制御

6

情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成する文書作成手段と、この文書作成手段によって作成された上記差込み文書のイメージを表示する印刷イメージ表示手段とをさらに具備したことを特徴とする。

【0019】また、本発明は、上記文書指定手段によって上記印刷対象文書が指定された際に、文書化を指示する文書化指示手段と、この文書化指示手段による文書化指示に従って、上記印刷対象文書中の差込み語句を上記差込み制御情報に基づいて上記定型文書に差し込んだ差込み文書を作成する文書作成手段と、この文書作成手段によって作成された上記差込み文書を指定の文書名に基づいて指定先に保存する差込み文書保存手段とをさらに具備したことを特徴とする。

【0020】このような構成によれば、差込み印刷に際し、設定画面を通じて差込みファイル内の任意の文書を印刷対象として選んで印刷することができる。したがって、無駄な印刷を省くことができ、印刷時間の短縮にも繋がる。

【0021】また、データチェックを指示することにより、記述ミスがあれば、事前にそのエラー箇所が表示される。したがって、実際に印刷を開始する前に、どのような記述ミスを訂正することができる。

【0022】また、印刷イメージを指示することにより、印刷前に差込み語句を置き換えたときのイメージが表示される。したがって、この印刷イメージを見ることにより、所望の印刷結果を得ることができるかどうかを事前に確認することができる。

【0023】また、文書化を指示することにより、定型文書中の差込みマークを印刷対象文書中の語句に置き換えたものが文書化され保存される。このため、例えはある特定の件に関してファイルで保存しておきたい場合に、従来のようなユーザ自身による文書化の作業を必要とせずに、簡単に保存することができる。

【0024】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の一実施形態を説明する。図1は本発明の一実施形態に係る文書作成装置の構成を示すブロック図である。本装置は、差込み印刷機能を備えたワードプロセッサあるいはパーソナルコンピュータからなる。また、本装置は、例えは磁気ディスク等の記録媒体に記録されたプログラムを読み込み、このプログラムによって動作が制御されるコンピュータによって実現される。

【0025】図1に示すように、本装置は、マイクロプロセッサ（以下、CPUと称す）11、ROM12、RAM13、記憶装置14、表示装置15、印刷装置16、入力装置17、割込みコントローラ18を有して構成される。

【0026】CPU11は、本装置全体の制御を行うものであり、入力指示に従ったプログラムの起動により文書作成処理の他、ここでは図5および図6に示すような

(5)

7

差込み印刷処理等を実行する。ROM12は、プログラムや辞書等の各種情報を記憶している。RAM13は、本装置に必要な各種情報を記憶するためのメモリであり、ここでは一時保存領域13aを有する。

【0027】記憶装置14は、例えばハードディスク装置やフロッピーディスク装置からなり、ここでは各種ソフトウェアや文書ファイルの保存用として用いられる。この記憶装置14には、予め差込み制御情報（差込みマークおよび差込み番号）によって差込み語句の差込み先が記述された複数の文書を有する差込みファイルを格納するための差込みファイル格納領域14aと、同制御情報によって上記差込み語句の差込み位置が指定された定型文書を格納するための定型文書格納領域14bと、差込みファイルと定型文書とで得られる差込み文書を格納するための差込み文書格納領域14cが設けられている。

【0028】表示装置15は、例えばLCD（Liquid Crystal Display）やCRT（Cathode Ray Tube）からなり、文書ファイル等のデータの表示を行う。印刷装置16は、例えば感熱式シリアルプリンタからなり、文書ファイル等のデータの印刷を行う。この印刷装置16としては備え付きのものであっても、外付けのものであっても良い。入力装置17は、例えばキーボードやマウスからなり、データの入力をう。割込みコントローラ18は、入力装置17からの割込み指示に従って割込み処理を行う。

【0029】図2は同実施形態における差込み設定画面を示す図である。差込み印刷を行うに際し、図2に示すような差込み設定画面21が表示される。この差込み設定画面21には、定型文書の文書名を指定するための定型文書指定部22、差込み番号を指定するための差込み番号指定部23、この差込み番号指定部23で指定された差込み番号に対応する差込み語句を差込みファイル内の各文書毎に表示するための語句表示部24が設けられている。

【0030】また、この差込み設定画面21の下部には、「印刷」を指示するための印刷ボタン25、「印刷イメージ」の表示を指示するための印刷イメージボタン26、印刷イメージ時に「語句の反転」を指示するための語句反転ボタン27、「データチェック」を指示するためのチェックボタン28、「文書化」を指示するための文書化ボタン29が設けられている。

【0031】このような構成の差込み設定画面21では、まず、定型文書指定部22に所望の定型文書の文書名を入力して、印刷対象となる定型文書を指定する。次に、差込み番号指定部23に差込み番号を入力する。この差込み番号の入力により、該当する差込み語句が差込みファイルの各文書毎に表示される。図2の例では、差込み番号「03」が指定されている。差込み番号「03」は氏名データに相当する。したがって、語句表示部

8

24には各文書中の氏名データ（差込み語句）が表示される。この氏名データをキーワードとして、所望の文書を容易に選択することができる。

【0032】なお、このとき複数の文書を選択しても良い。また、別の差込み番号を入力することにより、氏名データ以外の項目データをキーワードとして文書選択を行うこともできる。

【0033】差込み印刷を実行する場合には印刷ボタン25をクリックする。これにより、定型文書指定部22で指定された定型文書の中に、語句表示部24で指定された文書中の差込み語句が差込みマークおよび差込み番号に基づいて差込まれて印刷される。

【0034】また、印刷に際し、事前に印刷結果を確認した場合には印刷イメージボタン26をクリックする。これにより、図3に示すような印刷イメージ画面31が表示される。この場合、語句反転ボタン27をクリックしておけば、差込み語句が反転表示される。このような印刷イメージ画面31の表示により、どのようなレイアウトで印刷されるのかを事前に確認することができる。

【0035】また、チェックボタン28をクリックすると、印刷対象文書中の差込み語句の記述がチェックされる。このチェックの結果、記述ミスが検出された場合には、その文書中のエラー箇所の一覧が図4に示すようなエラー表示画面41に表示される。このようなエラー表示画面41の表示により、どこにどのような記述ミスがあったのかを事前に知ることができる。

【0036】また、文書化ボタン29をクリックすると、印刷対象文書中の差込み語句を定型文書に差し込んだ差込み文書の作成と、その差込み文書の保存を行うことができる。

【0037】図3は同実施形態における印刷イメージ画面を示す図である。上記差込み設定画面21に設けられた印刷イメージボタン26をクリックすることにより、図3に示すような印刷イメージ画面31が表示される。この印刷イメージ画面31には、上記差込み設定画面21で指定された差込みファイル内の印刷対象文書中の差込み語句を定型文書に差し込んだ差込み文書のイメージが表示される。この場合、差込み語句反転ボタン27がクリックされていれば、文書中の差込み語句が反転表示される。

【0038】なお、図中の符号32は用紙枠を示している。また、符号33は終了を指示するための終了ボタン、符号34は次文書の印刷イメージに移るための次文書ボタンである。

【0039】図4は同実施形態におけるエラー表示画面を示す図である。上記差込み設定画面21に設けられたチェックボタン28をクリックすることにより、記述ミスが検出された場合に、図4に示すようなエラー表示画面41が表示される。このエラー表示画面41には、印刷対象文書における差込み語句の記述をチェックした結

(6)

9

果、記述ミスとして検出された箇所がメッセージ表示される。

【0040】次に、同実施形態の動作を説明する。図5および図6は同実施形態における差込み印刷の処理動作を示すフローチャートである。ユーザによって印刷が指示されると、CPU11は、まず、印刷要求のあった文書に差込みファイルが関連付けされているか否かを判断する（ステップB11）。関連付けがない場合には（ステップB11のNo）、通常の印刷となる（ステップB38）。すなわち、印刷要求のあった文書を通常の文書としてその印刷を行う。

【0041】関連付けがある場合には（ステップB11のYes）、CPU11はその文書を定型文書とし、その定型文書に関連付けられている差込みファイルのデータを記憶装置14の差込みファイル格納領域aから読み出し（ステップB12）、その解析を行って当該差込みファイルが有する文書数を求める（ステップB13）。

【0042】次に、CPU11は図2に示すような差込み設定画面21（差込み設定用プロパティ）を表示装置15に表示して、ユーザに印刷対象となる文書と処理方法を指定してもらう（ステップB14）。この場合、差込み設定画面21の定型文書指定部22には、上記印刷要求のあった定型文書の文書名が入力される。

【0043】また、印刷対象となる文書の指定は、まず、ユーザが差込み番号指定部23に所望の差込み番号を入力することにより行う。差込み番号指定部23に差込み番号を入力すると、その差込み番号に対応する各文書中の差込み語句が語句表示部24に表示される。この語句表示部24の中で所望の差込み語句を選択することにより、その選択された差込み語句を有する文書が当該差込みファイル内の印刷対象文書として指定されることになる。このとき、複数の文書を指定することもできる。

【0044】また、処理方法の指定は、ボタン25～29のいずれかをクリックすることにより行う。印刷ボタン25は「印刷」を指示する場合に用いる。印刷イメージボタン26は「印刷イメージ」の表示を指示する場合に用いる。語句反転ボタン27は印刷イメージ時に「語句の反転」を指示する場合に用いる。チェックボタン28は「データチェック」を指示する場合に用いる。文書化ボタン29は「文書化」を指示する場合に用いる。

【0045】印刷対象となる文書が指定されると、CPU11はその指定された印刷対象文書中の差込み語句の記述（差込みマークや番号の使い方）をチェックする（ステップB15）。その結果、記述ミスがなければ（ステップB16のNo）、CPU11は定型文書を記憶装置14の定型文書格納領域14bから読み出し（ステップB18）、その定型文書中に存在する差込みマークを全て検索する（ステップB19）。

【0046】検索終了後、CPU11はその差込みマー

10

クに基づいて定型文書中の差込み番号と差込みファイル内の印刷対象文書中の差込み番号との対応をチェックする（ステップB20）。両者の差込み番号が対応しない場合、ユーザが指定した処理が「データチェック」ならば（ステップB21のYes）、CPU11は問題箇所のデータをRAM13の一時保存領域13aに保持して（ステップB22）、次の文書のチェックに移る。

【0047】また、「データチェック」が指定されていない場合において、両者の差込み番号が対応していない場合には（ステップB23のYes）、ここでの処理を終了する。一方、両者の差込み番号が対応する場合には（ステップB23のNo）、定型文書中の差込みマークを印刷対象文書中の語句に置き換えるが、その際に、「印刷イメージ」かつ「語句の反転」の処理が指定されている場合には（ステップB24のYes）、CPU11は印刷対象文書中の語句に反転の修飾情報を附加した後（ステップB25）、定型文書中の差込みマークを差込み番号の順に印刷対象文書中の語句に置き換える（ステップB26）。このようにして得られた文書つまり定型文と差込みファイル内の印刷対象文書とで得られる差込み文書はRAM13の一時保存領域13aに保持される。

【0048】ここで、ユーザが指定した処理が「文書化」であった場合、CPU11は図示せぬ保存ダイアログを表示装置15に表示し、ユーザに文書名と保存先を指定してもらう（ステップB32）。この文書名と保存先の指定に従い、CPU11は一時保存領域13aに保持されている差込み文書を記憶装置14の差込み文書格納領域14cに保存する（ステップB33）。保存後、CPU11は次の差込み文書に関して語句の置き換えを行って文書化するか否かを確認するための図示せぬプロパティを表示装置15に表示する（ステップB34）。このプロパティでユーザが「終了」を選んだ場合には（ステップB35のNo）、ここでの処理を終了する。「続行」を選んだ場合には（ステップB35のYes）、次の文書を処理するため、ステップB17の処理に戻る。

【0049】また、ユーザが指定した処理が「印刷イメージ」であった場合（ステップB28のYes）、CPU11は一時保存領域13aに保持されている差込み文書に基づいて図3に示すような印刷イメージ画面31を作成し、これを表示装置15に表示する（ステップB30）。このとき、上記ステップB25で差込み語句に反転の修飾情報が付加されていれば、その語句は反転して表示される。

【0050】この印刷イメージ画面31には、終了を指示するための終了ボタン33と、次文書の印刷イメージに移るための次文書ボタン34が設けられている。ユーザが次文書ボタン34をクリックした場合には（ステップB31のYes）、次の文書を処理するため、ステッ

(7)

11

プB 1 7 の処理に戻る。

【0051】また、ユーザが指定した処理が「印刷」であった場合（ステップB 2 8 のN o）、CPU 1 1 は一時保存領域1 3 a に保持されている差込み文書を印刷装置1 6 に渡して、その印刷を実行する（ステップB 2 9）。

【0052】このようにして、ユーザが指定した文書数の処理が終了するまで、上記の処理を繰り返す（ステップB 1 7）。ユーザが指定した文書数の処理が終了すると、ここでの処理を終了する。その際、ユーザが指定した処理が「データチェック」であった場合には（ステップB 3 6 のY e s）、CPU 1 1 は一時保存領域1 3 a に保持された問題箇所のデータを読み出し、図4に示すようなエラー表示画面4 1 を表示装置1 5 に表示する（ステップB 3 7）。このようなエラー表示画面4 1 の表示により、どこにどのような記述ミスがあったのかを事前に知ることができる。

【0053】このように、従来は差込みデータの指定がファイル単位でしか行えなかつたため、1つの差込みファイルに複数の文書が存在する場合に、その中の一部の文書のみを対象として部分的に印刷することができなかつたが、本実施形態では、図2に示すような差込み設定画面2 1 を通じて差込みファイル内の任意の文書を印刷対象として選んで印刷することができる。したがって、無駄な印刷を省くことができ、印刷時間の短縮にも繋がる。

【0054】また、差込みファイルを作成する際、番号の対応ミスや差込みマークの入れ忘れなどの記述ミスを犯すことがある。本実施形態では、差込み設定画面2 1 上のチェックボタン2 8 を操作することで、このような記述ミスが事前にチェックされ、そのエラー箇所が図4に示すようなエラー表示画面4 1 に表示される。したがって、実際に印刷を開始する前に、どのような記述ミスがあれば、それを訂正することができる。これにより、無駄な印刷を省くことができ、印刷時間の短縮にも繋がる。

【0055】また、差込み設定画面2 1 上の印刷イメージボタン2 6 を操作することで、印刷前に差込み語句を置き換えたときのイメージが図3に示すような印刷イメージ画面3 1 に表示される。したがって、この印刷イメージを見ることにより、所望の印刷結果を得ることができかを事前に確認することができ、例えば語句の置き換えによって1行字数がオーバーするなどして、レイアウトが変わってしまっているような場合には、それを訂正してから印刷を行うことができる。これにより、無駄な印刷を省くことができ、印刷時間の短縮にも繋がる。

【0056】また、差込み設定画面2 1 上の文書化ボタン2 9 の操作により、定型文書中の差込みマークを印刷対象文書中の語句に置き換えたものを文書化して保存す

12

ることができる。このため、例えはある特定の件に関してファイルで保存しておきたい場合に、従来のようなユーザ自身による文書化の作業を必要とせずに、簡単に所望の文書を保存することができる。

【0057】なお、上述した実施形態において記載した手法は、コンピュータに実行させることのできるプログラムとして、例えは磁気ディスク（フロッピーディスク、ハードディスク等）、光ディスク（CD-R OM、D V D等）、半導体メモリなどの記録媒体に書き込んで各種装置に適用したり、通信媒体により伝送して各種装置に適用することも可能である。本装置を実現するコンピュータは、記録媒体に記録されたプログラムを読み込み、このプログラムによって動作が制御されることにより、上述した処理を実行する。

【0058】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、差込み印刷に際し、設定画面を通じて差込みファイル内の任意の文書を印刷対象として選んで印刷することができる。したがって、無駄な印刷を省くことができ、印刷時間の短縮にも繋がる。

【0059】また、データチェックを指示することにより、記述ミスがあれば、事前にそのエラー箇所が表示される。したがって、実際に印刷を開始する前に、どのような記述ミスを訂正することができる。

【0060】また、印刷イメージを指示することにより、印刷前に差込み語句を置き換えたときのイメージが表示される。したがって、この印刷イメージを見ることにより、所望の印刷結果を得ることができるかどうかを事前に確認することができる。

【0061】また、文書化を指示することにより、定型文書中の差込みマークを印刷対象文書中の語句に置き換えたものが文書化され保存される。このため、例えはある特定の件に関してファイルで保存しておきたい場合に、従来のようなユーザ自身による文書化の作業を必要とせずに、簡単に保存することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る文書作成装置の構成を示すブロック図。

【図2】同実施形態における差込み設定画面を示す図。

【図3】同実施形態における印刷イメージ画面を示す図。

【図4】同実施形態におけるエラー表示画面を示す図。

【図5】同実施形態における差込み印刷の処理動作を説明するためのフローチャート。

【図6】同実施形態における差込み印刷の処理動作を説明するためのフローチャート。

【図7】差込み印刷機能を説明するための図。

【図8】従来の差込み印刷の処理動作を説明するためのフローチャート。

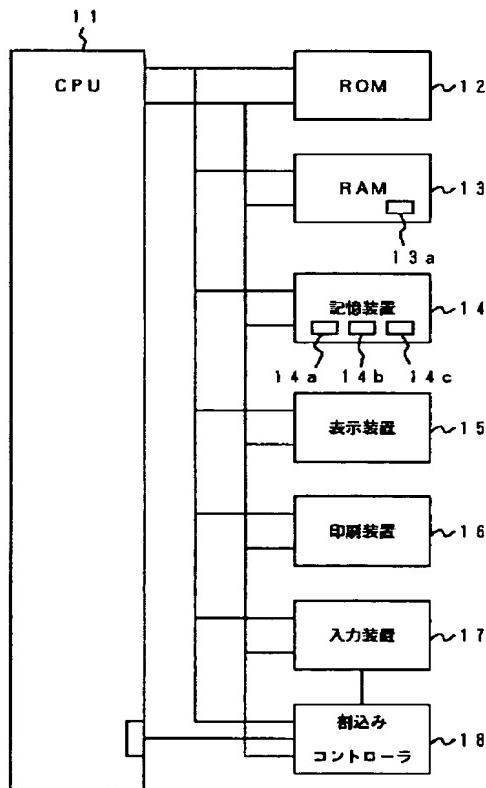
【符号の説明】

(8)

13

- 1 1 … CPU  
 1 2 … ROM  
 1 3 … RAM  
 1 3 a … 一時保存領域  
 1 4 … 記憶装置  
 1 4 a … 差込みファイル格納領域  
 1 4 b … 定型文書格納領域  
 1 4 c … 差込み文書格納領域  
 1 5 … 表示装置  
 1 6 … 印刷装置  
 1 7 … 入力装置  
 1 8 … 割込みコントローラ  
 2 1 … 差込み設定画面

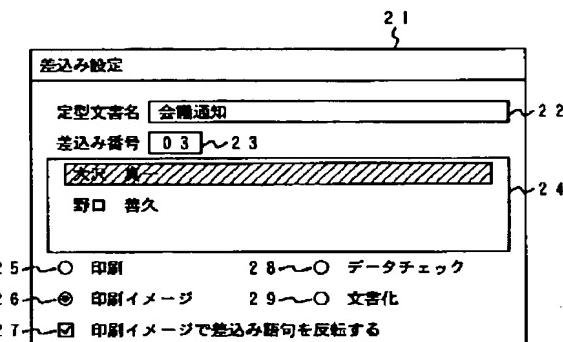
【図 1】



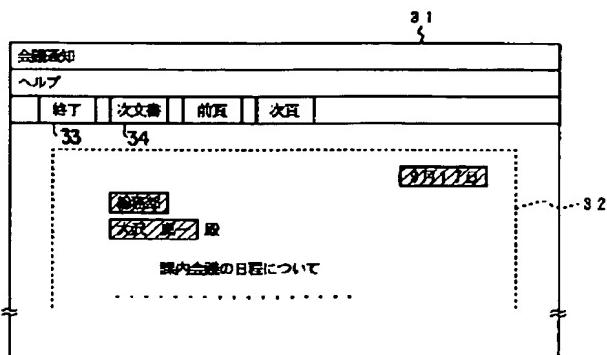
14

- 2 2 … 定型文書指定部  
 2 3 … 差込み番号指定部  
 2 4 … 語句表示部  
 2 5 … 印刷ボタン  
 2 6 … 印刷イメージボタン  
 2 7 … 語句反転ボタン  
 2 8 … チェックボタン  
 2 9 … 文書化ボタン  
 3 1 … 印刷イメージ画面  
 10 3 2 … 用紙枠  
 3 3 … 終了ボタン  
 3 4 … 次文書ボタン  
 4 1 … エラー表示画面

【図 2】



【図 3】

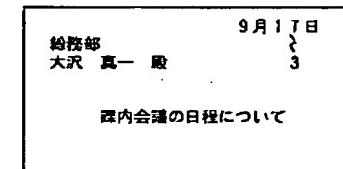
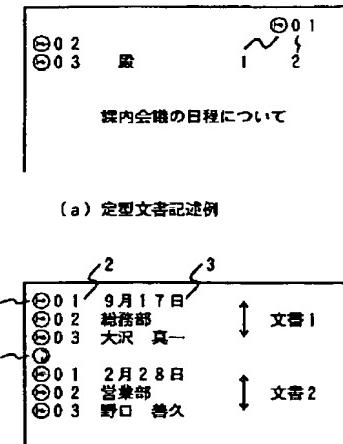


(9)

【図4】

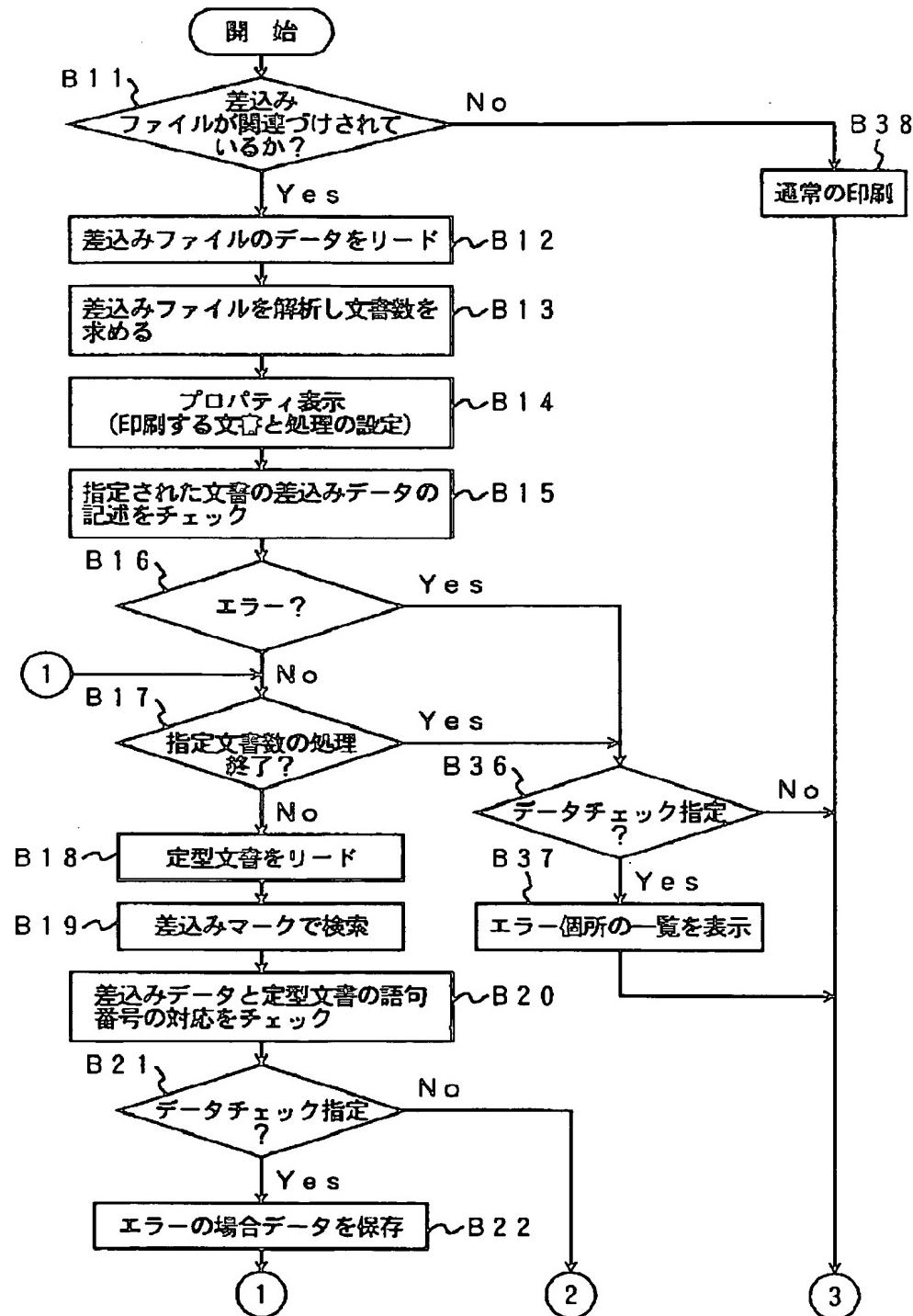
| エラー一覧                  |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 差込みファイルに下記のエラーが見つかりました |                          |
| ××頁 ○○行目               | 差込みマークがありません             |
| ××頁 △△行目               | 定型文書上に対応する差込みデータが見つかりません |
| ××頁 □□行目               | 差込み番号の指定がありません           |
| ⋮                      |                          |

【図7】



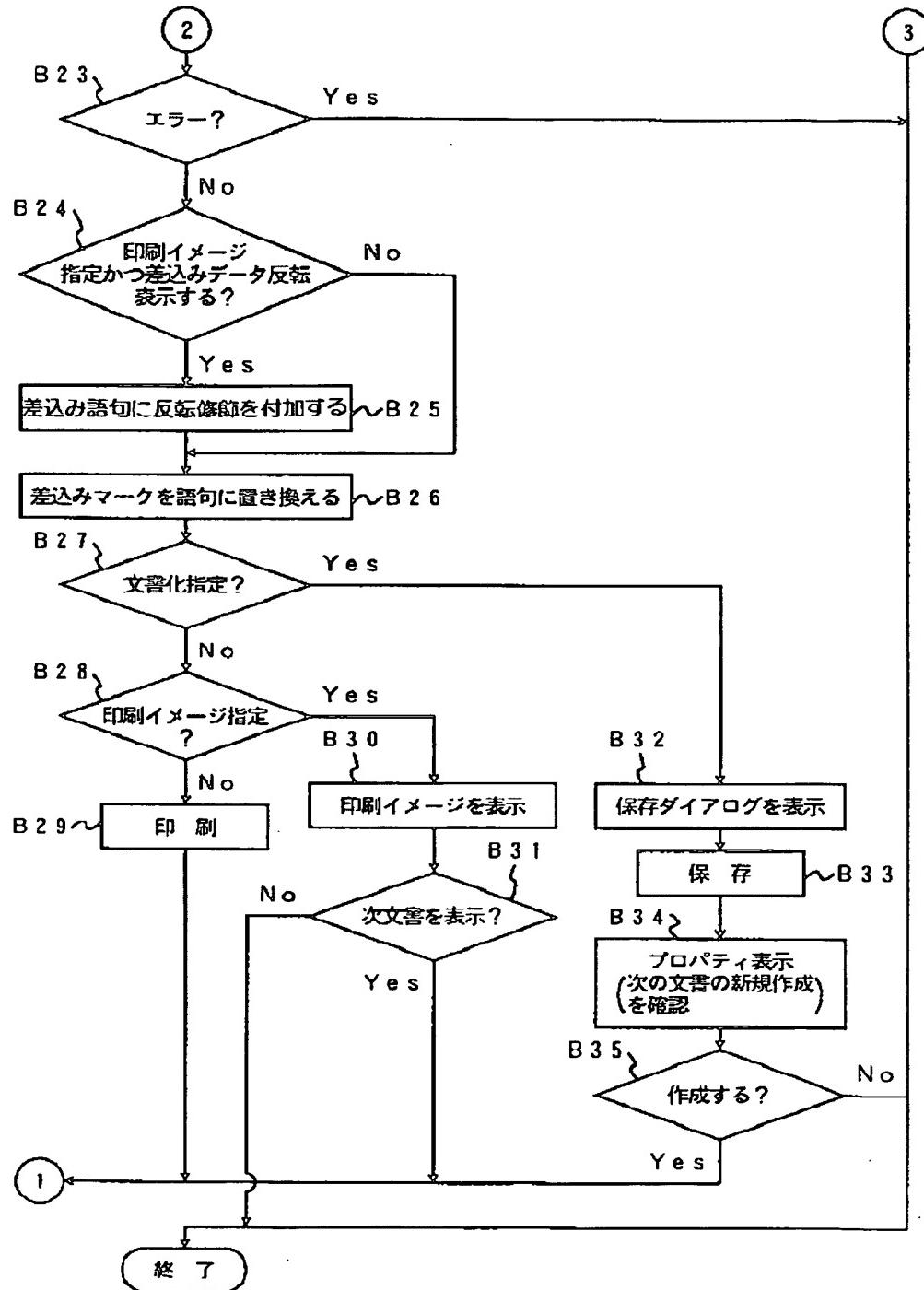
(10)

【図5】



(11)

【図6】



(12)

【図8】

